

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

朝来市長 藤岡 勇

| | | |
|-------------------|------------------------|--|
| 市町村名 (市町村コード) | 朝来市 (282251) | |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 朝来市和田山町大蔵地域 (高瀬区) | |
| 協議の結果を取りまとめた年月日 | 令和 7年 3月24日 (第3回) | |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・農作物は主に水稲である ・当地区の耕作者の多くは高齢であり、徐々に離農していく傾向にあるが、現在は認定農業者1名が当地区内農地の大半を引き受けている ・圃場整備はすでに行っているものの、年数が経過しているため水路等の老朽化が進んでいる ・農地の一部では揚水ポンプで水を流している区域があり、電気代等の増による負担が増えている |
|--|

(2) 地域における農業の将来の在り方

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・現在水稲が主要作物であり、今後も水稲中心に栽培していくこととなるが、新規栽培作物の導入も検討しなければならない ・遊休農地が発生しないように、農用地の状況、耕作者の状況を確認して農地の集積・集約化を行う |
|---|

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

| | |
|----------------------------------|----------|
| 区域内の農用地等面積 | 12.78 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積 | 8.63 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha |

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

| |
|---------------------------------|
| 地区内の農地利用及び多面的機能支払制度の対象農地を区域とした。 |
|---------------------------------|

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

| |
|--|
| (1)農用地の集積、集約化の方針 |
| ・地区内の農地について所有者の状況の耕作状況や今後の利用方法を予測、把握し遊休農地の発生を防止するためにも農地の集積・集約化を考え、効率的な活用を目指す |
| (2)農地中間管理機構の活用方針 |
| ・農地中間管理機構について、制度や仕組み等を考察し、遊休農地の発生を防止するためにも活用を考える必要がある。 |
| (3)基盤整備事業への取組方針 |
| ・基盤整備については、地区内農地のほとんどが完了しているものの、水路等の施設が老朽化しているため対策を協議、検討する必要がある。 |
| (4)多様な経営体の確保・育成の取組方針 |
| ・農地所有者や担い手の意向を確認しながら育成に取り組む。 ・他地域の認定農業者の確保も大切である。 |
| (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 |
| ・今後、検討していきたい。 |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

| | | | | |
|---|--------------------------------------|---|-----------------------------------|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等 | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設 | <input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等 | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |

【選択した上記の取組方針】

- ①現在設置している鹿、猪の侵入防止柵について点検及び修繕を随時行う。
- ③農作業の効率化、省力化を図るためスマート農業の導入を検討したい。
- ⑦現在維持管理を行っている農地は、多面的機能支払制度を活用し維持管理を継続していく。